



自立し、互いに関わり合いながら、よりよい社会づくりに参画し行動する「有徳の人」の育成を目指して

# Eジャーナルしずおか

令和2年(2020年)  
2月5日  
水曜日  
第220号

発行・編集 教育政策課 〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号 TEL 054-221-3674 FAX 054-221-3561 E-mail kyoui\_seisaku@pref.shizuoka.lg.jp

## 進む学校でのICT活用

### 授業においてICTの効果的な活用を!!

新学習指導要領では、情報活用能力を、言語能力と同様に「学習の基盤となる資質・能力」と位置付け、学校のICT環境整備とICTを活用した学習活動の充実を明記しています。

ICTの効果的な活用は、子どもたちの主体的・対話的で深い学びを促し、より理解を深める授業につながります。具体的には、協働学習において、タブレットや電子黒板等を活用し、生徒同士による意見交換、発表などお互いを高めあう学びを通じて、思考力、判断力、表現力などを育成することが可能となります。また、1人1人の学習履歴を把握することにより、個々の理解や関心の程度に応じた学びも可能となります。

#### 意見の視覚化



考察①理論値と実験値のグラフが異なる理由を  
整理列  
実験中にほかの物質と反応したから。  
二酸化炭素の一部が水に溶けていて空気中に出  
水に溶ける 温度により溶け切れる量が限界に  
反応しきっていない。  
二酸化炭素の一部が、水に溶けたから。  
塩酸の温度が低かったので溶けきらなかった。  
二酸化炭素の一部が水に溶けたから。塩酸の濃  
二酸化炭素と炭酸カルシウムが発生した水に溶  
3molではなかった  
中央列  
二酸化炭素が塩酸に溶けたから  
二酸化炭素が空気よりも密度が大きいから。  
二酸化炭素が液体に溶けたから  
二酸化炭素は空気よりも重いので落ちた。

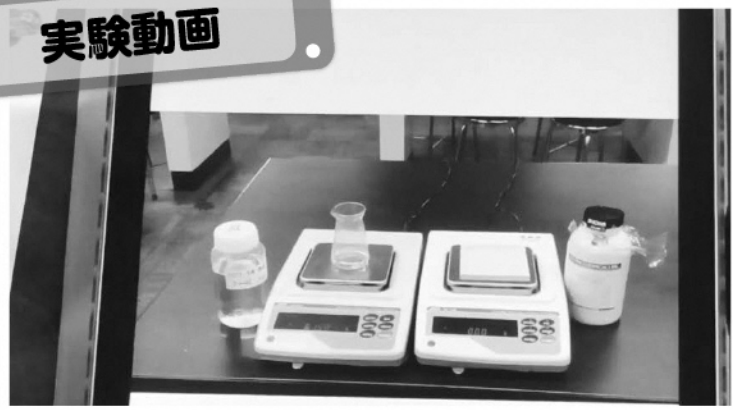
理論値と実験値が異なる理由を、教育支援クラウドサービスを使い意見の集約を行っています。プロジェクトで投影し視覚的に共有することで、積極的に意見交換ことができ、関心・意欲を高めることができました。

#### 会話練習



タブレットの録音機能を用いて外国語の会話練習を行っています。子どもたちは、録音した音声を提出するため、録音に何度も挑戦していました。

#### 実験動画



事前に実施した実験を動画に収め、繰り返し動画を見ながら演習を行っています。

#### グループ協議



生徒がタブレットを活用し、課題で出された条件の最適な数値を学習支援アプリを活用して、グループ協議を行っています。

### 始まる!プログラミング教育

令和2年度から小学校の新学習指導要領が全面実施され、プログラミング教育がスタートします。今後は、コンピュータで文字を入力するなどの学習の基盤として必要となる情報手段の基本的な操作を習得するための学習活動や、プログラミングを体験しながら論理的思考を身に付けさせるための学習活動を計画的に実施していくこととなります。

#### 教育情報化推進ワークショップⅡの開催

- 日時 令和2年2月28日(金) 午後1時30分～4時30分まで
- 場所 静岡県庁別館(静岡市葵区追手町9-6) 2階第三会議室B
- 参加者 各市町教育委員会情報教育担当者 50人程度

#### 内容

- ・GIGAスクール構想の実現について
- ・講演1「クラウド活用について」 日本マイクロソフト株式会社
- ・講演2「AI教材を活用した新たな学びについて」 株式会社COMPASS



遠隔通信システムZoomを活用したライブ配信を行いますので、どなたでもワークショップの様子が視聴できます。詳しくは教育政策課まで御連絡ください。

【教育政策課】

実践NOTE 437

# 仲間とともに学ぶ 楽しさを味わう美術教育

静岡市立東中学校  
教諭 大石 舞子

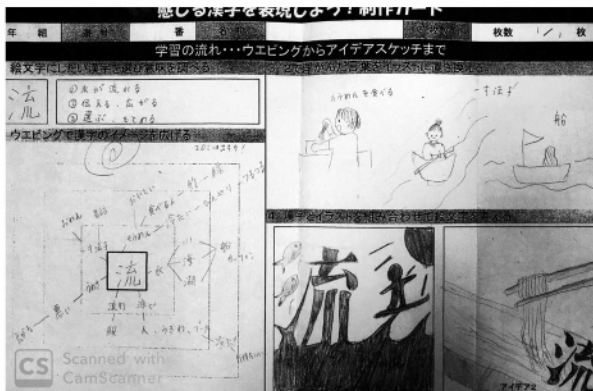
## 自身の課題を解決したい

静岡市の教員になり今年で12年目を迎えます。自身の実践を振り返ると、美術教育で育成できる資質・能力を明確にした題材研究が課題として挙げられます。また、一人ではなく仲間とともに学びを深めていく授業づくりを大切にしたいという思いから、3つの取り組みを基に授業改善を行っています。

## 発想・構想の力を育てる 題材展開を工夫する

1年生の絵文字のデザインでは、言葉から発想を広げるウェビング→  
2年生の木工パズルでは、人間→猫→15匹の

動物という段階を踏んで発想・構想を進めました。生徒は、動物の特徴や動作を生かした単純化の工夫、ピースを組み合わせる方向の工夫など共通の視点を持って鑑賞し合いながらデザインや彩色を進めることができました。



発想を広げるアイデアスケッチ

生徒同士が関わり合う際に大切にしているのは、共通の視点を持つことです。作者の思いや意図、色、形、イメージなど題材によって異なりますが、造形的な視点を基に表現や鑑賞の活動を行っています。仲間との対話の中で、自分では気付かないことを新たに発見したり、造形的な見方・考え方を広げたり深めたりしていくことができます。相手の思いや表現方法などに関心を持って関わり合うことで、主体的に自己表現を追求していく姿勢につながっています。



変容がみられた生徒作品

## ICT機器の活用によって 関心も高められる

本校には、全教室にテレビモニターが設置されており、各教室でタブレットが使用できる環境が整っています。アイデア



ICTの活用(筆者)

## 研修の機会をつくる

採用されてから一人職という体制が多く、同じ美術教師と日頃から相談や研修する機会がほとんどありません。しかし、身近にいる先生方とつながり、積極的に授業研究していくことが自身の指導力向上につながると思っています。一人一人の個性が生かされた表現や豊かな感性の育成を目指して、子どもたちの後押しをしていきたいと思っています。

実践NOTE 438

# 「したい」「できた」と 感じる授業を目指して (国語科)

浜松市立飯田小学校  
教諭 大石 葉子

本校では、「進んで考え、学びを深める子ども」の育成を目指し、授業改善に取り組んでいます。合言葉は、「子どもが『〇〇したい』『△△できた』と感じる授業」です。



本時の位置付けの確認をする筆者

## 学習のねらいの共有

子どもの「学びたい」という気持ちを持続するように、導入では、学習のねらいを子どもと共有することを大切にしています。そのために、単元のゴールと今の自分とのギャップを示すことを意識しています。

2年生「説明の技」を使っておもちゃの作り方を伝えようという学習では、単元の導入で、生活科で作ったおもちゃの作り方を家の人に伝えようという子どもたちに投げ掛けました。子どもたちは、早速ノートにおもちゃの作り方を書き、友達と読み合いました。すると、自分



初めて書いた「おもちゃの作り方」を読み合う

## 比べることで分かる

子どもが「分かりやすい説明の仕方がなかった」と感じるために、単元の展開では、しかけカードの作り方が書かれた文章を二つ用意し、比較し



2つの「しかけカードの作り方」を読み、実際に作ってみる

## 効果的な振り返り

単元の終末では、完成

が伝えたいことが思うように書けなかったり、相手にうまく伝わらなかったりすることに気付きました。授業の振り返りでは、「友達にもうちょっと詳しく書いた方がいいねと言われました。もっと詳しく書けるようになりたいです」「詳しくすると長くなるし、短いと分かりにくいし」。悩みがたたくさんです。早く、説明の技を見付けたいです」という声がたくさん上がりました。「相手に分かりやすく説明する文章を書く」という学習のねらいを子どもと共有することができました。

さらに、二つのモデル文を詳しく比較していくことで、子どもたちは、分かりやすく説明する技をたくさん見付けることができました。グッドモデルとバッドモデルは、リーフレットにして子どもに示しました。リーフレットの良さは、たくさん情報があるページごとに整理されていることです。「前書き」「材料」「作り方」「使い方」をページごとに分けて載せました。ページごとに二つのモデルを比較していくことで、話し合いの視点が明確になり、ねらいに迫ることができました。



「説明の技」を使って書けたか友達と読み合う

## 子どもの姿を思い浮かべて

「子どもが『〇〇したい』『△△できた』と感じる授業」を目指すことは、目の前の子どもの姿を具体的に思い描きながら授業を構想することにつながります。これからは、子どもたちが「したい」「できた」と感じる授業を他教科でも目指して学んでいきたいと思っています。

vol.19  
POINT PLAN  
STOP  
なくそう  
パワーハラ

「パワーハラ」に関する国の指針が定められました。

この指針において、パワーハラは、「職場において行われる①優越的な関係を背景とした言動であって、②業務上必要かつ相当な範囲を超えたものにより、③労働者の就業環境が害されるものであり、④から③までの要素を全て満たすもの」とされており、客観的に見て、業務上必要かつ相当な範囲で行われる適正な業務指示や指導については、パワーハラに該当しないとしています。

「業務上必要かつ相当な範囲」を超える場合としては、「業務上明らかに必要性のない言動」「業務を遂行するための手段として不適当な言動」「当該行為の回数、行為者の数等、その態様や手段が社会通念に照らして許容される範囲を超える言動」などが挙げられています。

パワーハラは、受けた職員が身体的・精神的に苦痛を感じるだけでなく、職場全体の就業環境を悪化させるものです。

自身の行為を振り返り、常に相手の人権を尊重した言動を心掛けましょう。

【教育総務課】

# 新学習指導要領時代の授業とは? ~情報を取り入れ、主体的な取り組みを~

県教育委員会は、各市町教育委員会・各学校に対し、新学習指導要領の全面実施に向けたさまざまな情報を提供しています。また、全国学力・学習状況調査の学校質問紙等によると、静岡県の各学校は熱心な校内研修が盛んに行われているということが分かっています。国や県が作成した資料等は、充実した校内研修の中で、子どもの実態に応じて上手に活用されています。新学習指導要領に基づく授業づくりにおいても、有益な情報を提供し、各市町教育委員会・各学校の主体的な「研修」「授業づくり」を支援します!

## Q 授業例が紹介された資料はありますか

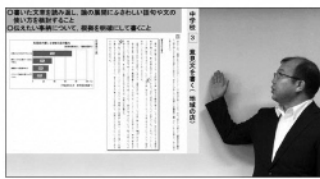
### A 全国学力・学習状況調査の調査問題にヒントがあります。

全国学力・学習状況調査の問題は、新学習指導要領を先取りした内容となっており、扱われている授業(例)は、新学習指導要領の理念を具現化した授業モデルとなっています。県教育委員会では、調査問題及び結果を分析し、静岡県の実態を踏まえ解説する動画(チャ・アップコンテンツ)を作成しています。校内研修等でご活用ください。



平成29年度小学校国語B問題より

実際の調査問題を御覧になり、この授業を読み解いてみてください。



「チャ・アップコンテンツ2019」より

チャ・アップコンテンツ 2019掲載HP

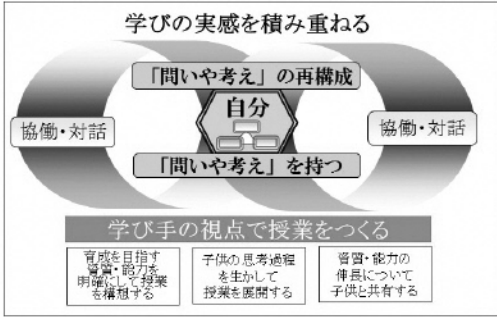


チャ・アップコンテンツ 2015~2018掲載HP

## Q 静岡県が大切にしている授業とは

### A 学び手の視点で授業をつくることです。

県教育委員会は、平成30年度末に発行した教師用指導資料「自分ごと(自分の事)として学ぶ子供」で、授業づくりの理念を示しました。



静岡県が大切にしている授業づくりのイメージ図

本資料は、静岡県が大切にしてきた授業づくりの理念を、A4裏表2枚に凝縮して伝えています。手に取って、ご自身の授業実践を振り返ってみてください。

本資料及び説明動画掲載HP

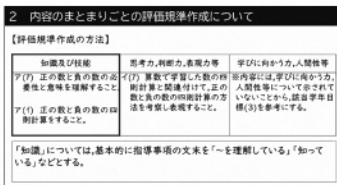


## Q 学習評価について知りたい

### A 国や県から学習評価に関する資料が出ています。

学習評価は、学校における教育活動に関し、児童生徒の学習状況を評価するものです。この理念のもと、国からは、「児童生徒の学習評価の在り方について(報告)」(中央教育審議会初等中等教育分科会教育課程部会)、「学習評価の在り方ハンドブック」(文部科学省国立教育政策所教育課程研究センター)が示されています。

また、県教育委員会は、「学習評価に関する資料」と称した資料を作成してDVDに収め、各学校に届くよう各市町教育委員会に提供しました。ぜひご活用ください。



中学校数学の学習評価説明動画より

これらのコンテンツと連動した研修会や学校訪問を行っていきます!

問 義務教育課 TEL 054(221)3106

## 心をもって、絆を深めていこう ~中国浙江省との友好提携事業の取り組みから~

静岡県立中央図書館には現在、中国浙江省の浙江図書館から孫曉清さんが研修のため来日しています。今回は孫さんから研修の様子や「つながり」への想いを報告してもらいました。

より親しい間柄へ  
顔を覚えることに比べると、お名前をいきなり口に出すことはなかなか難しいです。長い間付き合っ、よく顔を合わせたり、会話を交わしたりしてようやくその人のことを深く理解できるようになると思います。これは人間関係に限らず、国や組織同士の関係でも同じではないか、と今の私はそう考えずにはいられません。

浙江図書館と県立中央図書館は毎年、書籍や雑誌の寄贈を通じて交流してきましたが、遙かな地にいる相手は、やはり「顔」だけのイメージではないでしょうか。インターネット上のコミュニケーションが普通になった現代でも、人と人との出会いが何より大事だと思います。今回の研修では自分の目で見て、耳で聴いて、考えて、貴重な体験をすることができました。

日本での図書館研修  
県立中央図書館ではカウンターでの資料の貸し出し、書庫出納、レファレンスサービス、雑誌の受入作業、書架点検など、いろいろな業務を体験しました。中には初体験の業務もあります。例えば「読み聞かせ」。中国語版と日本語版の両方が出版された「わにさんどきっはいしゃさんどきっ」という絵本を使い、聞きに来てくれた親子たちの前で、県立中央図書館の職員の方と中国語・日本語を分担して読み聞かせをしました。絵本を通して発音やニュアンスなど言語の面白さを楽しんでもらうことができ、本当に良い経験になりました。そして読書は読者と本を結びつける力を持っていることを一層実感しました。

市町立図書館を視察したときは「心遣いがいいなあ」と感心することが多くありましたが、磐田市の図書館で「晴耕雨読」「少年易老学難成」という漢文章の札を見掛けた時は「漢字を通して両国の文化が繋がっているな」としみじみ実感しました。このような実感はインターネットだけでは得られないと思います。

新世紀に向かって!  
浙江図書館は2019年に入ってから新館の建設が始まりましたが、県立中央図書館も新館の検討が盛り上がっているようです。歯車のように友好連携を行っている両館が、同じ歩調で新世紀に向かうのは、縁のように感じます。このような時期に来日した私が、両館のつながりを一層深めていくことに、ささやかながら力になればと思います。絆が深くなるに従い、必ずいつか「顔」だけではなく、いきなり相手のお名前を口にする馴染みの友人になれると思います。そして、ぜひ浙江図書館にお越しください!



ただいま研修中

【県立中央図書館】

## 「静岡どぼくらぶ」講座の募集!

技芸を磨く実学として、土木の重要性や仕事としてのやりがいを伝える「静岡どぼくらぶ」講座を開催してみませんか? 講座には、「建設現場体感見学会」と「出前講座」の2種類があります。

建設現場体感見学会 ~各地域の工事現場やインフラ施設見学~	出前講座 ~地域を支える社会インフラを学ぶ~
最寄りの場所から大規模な工事現場まで、海、山、川、道路などさまざまな工事現場の見学を提案します。	県・市町の技術職員や県内建設業者等が土木の仕事内容や社会的意義、やりがいを伝えます。ICT(ドローン・レーザー)の実演など最先端の土木業界も紹介します。
新しい道路を支える橋の現場見学	技術職員による、学校周辺の現場紹介や仕事のやりがいを伝える講座
工事現場での鉄筋結束の体験	建設業者による、運動場でのドローンの実演

### 「静岡どぼくらぶ」講座の申し込みについて

募集期間: 令和2年5月20日(水)まで  
開講期間: 令和2年6月末~令和3年3月末  
申込方法は、右記QRコードから申込用紙をダウンロードし、必要事項を記載の上、下記お問い合わせ先までメール又は郵送でお送りください。  
その他: 現場見学会は半日又は1日、出前講座は45分から実施できます。現場見学会の移動費用(バス代)は補助できる場合があります。講座の講師料は不要です。  
※申込数が多い場合や、他の業務等で希望日に対応できない場合は調整させていただきます。

- ### 令和元年度 開講実績 (予定含む)
- |  |  |   |
|--|--|---|
| ●小学校<br>・裾野市立東小学校(6年生105人)<br>・焼津市立港小学校(6年生123人)<br>・掛川市立中小学校(6年生20人)<br>・磐田市立中部小学校(6年生106人) | ●中学校<br>・下田市立下田中学校(3年生57人)<br>●高等学校<br>・島田工業高校(2年生39人)<br>・静岡農業高校(2・3年生54人)<br>・常葉橋高校(1年生23人)<br>・磐田農業高校(2年生15人) | ・浜松工業高校(1年生40人)<br>・天竜高校(2年生33人)<br>・伊豆総合高校(2年生26人) |
|--|--|---|

工事中がみらいをつくる!  
**交通基盤部**  
(お問合せ先)  
建設業課 (〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号)  
TEL: 054-221-3057  
Eメール: kensetsugyou@pref.shizuoka.lg.jp

# 静岡県教員育成指標「充実・発展期」における教師の職能成長モデルとは

「充実・発展期」の教員は、基礎・向上期に身に付けた力に加え、自らの立場や役割を自覚して学校運営に参画し、ミドルリーダーとしての資質向上を目指していきます。必要な資質能力を身に付け、教員としての幅をさらに広げ、自己の強みを確立しましょう。

## 若手教員をサポートするという自覚と行動による成長



## 管理職とともに学校全体を動かすという自覚と行動による成長



「基礎・向上期」に高めてきた資質能力を基盤としながら、ミドルとしてのリーダーシップを発揮する (他のメンバーに対する影響力)

## 私の学校紹介します

Eジャーナルでは、皆さまの学校についての取り組みを募集しています。ぜひEジャーナルを学校のPRにご活用ください!

☎ 教育政策課 TEL 054-221-3674

## 袋井特別支援学校 磐田農業高校との交流及び共同学習

袋井特別支援学校高等部では、将来の社会自立を目指し作業学習を教育課程の柱とした職業教育に取り組んでおり、農耕班では、年間を通して作物の栽培、収穫した作物を加工して干しいもや切干大根などを販売しています。



また、より学習を深めるために磐田農業高校の生徒とともに、さつま芋の栽培から加工までの作業を共同で行っています。農業や食品加工に関する学習をする中で、野菜の栽培や食品加工の専門性を教わったり、農耕作業の中で学び実践してきたことを伝えたりすることで、同年代の生徒との交流の場だけでなく、生徒同士の学びをより深める貴重な学習機会となっています。

## 袋特市開催!

「袋特市」とは、袋井特別支援学校の中学部と高等部の生徒による作業製品の販売会です。日頃の作業学習の発表の場として、生徒たちが一つ一つ心を込めて丁寧に作成しています。作業製品や販売の様子を通して生徒たちの学習の成果を感じてください。

- 日時 令和2年2月22日(土) 午前10時30分～11時30分
- 場所 袋井特別支援学校(袋井市高尾2753-1) (小中学部棟1階図書コーナー、多目的スペース、高等部棟教室)

## 「児童の権利に関する条約」への理解は進んでいますか?

「児童の権利に関する条約(子どもの権利条約)」は児童(18歳未満の者)の権利について定められた国際条約で、日本は1994年に批准、発効しました。この条約は大きく分けて「生きる権利」「育つ権利」「守られる権利」「参加する権利」が定められており、子どもたちが生きていく上で理解する必要のある大切な権利です。

県教育委員会では、教員や児童生徒への同条約についての更なる理解と認識を深めるため、貸出図書として人権教育におすすめの絵本等を購入しました。ぜひ、授業等でご活用ください。

詳しくは県教育委員会 HP [静岡県教委 人権教育](#) で検索してください。

子どもの権利ってなんだろう

子どもの権利条約の一部を紹介します

- 1 生きる権利
- 2 育つ権利
- 3 守られる権利
- 4 参加する権利

県子ども未来課作成チラシ

【教育政策課】

## 学び続ける教職員へ

## ～参加者募集中～

### ウィンターフェスティバル ～パラスポーツを体験しよう～

今年は日本でオリンピック・パラリンピックが開催されます。皆さんもポッチャ等パラスポーツを体験してみませんか。特別支援学校児童等の作品やオリンピック・パラリンピック関連の展示物もご覧いただけます。

- 実施日 令和2年2月23日(日) 午前10時～午後3時
- 会場 静岡県立焼津青少年の家 (焼津市石津2259-408)
- 定員 なし
- 費用 無料
- 問い合わせ先 静岡県立焼津青少年の家 TEL 054-624-4675



### ふじのくに食と花の都の祭典

県産農林水産物や加工品の販売、和の食文化の体験・展示、ふじのくに食の都づくり仕事人による調理実演、花きイベント等により、静岡県の食と花の魅力を一度に楽しめる「ふじのくに食と花の都の祭典」を開催します。

- 実施日 令和2年2月22日(土)から23日(日)まで 午前10時～午後4時
- 会場 ツインメッセ静岡(静岡市駿河区曲金3丁目1-10) 北館大展示場、中央棟4階会議室409
- 内容 ふじのくに農芸品の販売、食文化の体験・展示、料理人の調理実演・販売、食育映画上映会(22日(土)のみ) フラワーデザインコンテスト等の花きイベント
- 問い合わせ先 経済産業部農芸振興課 TEL 054-221-3249

広告



## ま・あ・る

静岡市子どもクリエイティブタウン

## 学校団体利用受付中!

JR清水駅にある『ま・あ・る』は、仕事体験やものづくり体験を通じて、自主性や創造性を育み、社会・経済のしくみや地域産業について学ぶ施設です。学校団体向けに、キャリア教育・生活科・総合的な学習・社会科の時間に最適なプログラムを提供しています。

お問い合わせ

【電話】054-367-4320 【メール】maaru@maaru-ct.jp

団体利用についての詳細はこちら

<https://maaru-ct.jp/dantai>

